

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちやいんどえっぐ上小埜		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 17日		令和7年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 17日		令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育 個別支援計画に沿った、児童1人ひとりに合わせた内容設定を行う。	児童のできたことへの喜び・挑戦する気持ちを大切に、褒められることで自信を持ち、成長に繋げている。	個別の指導員の私感に偏りがないよう、2ヶ月ごとにフィードバックを行い個別療育の内容見直しをしている。
2	集団療育 小集団から慣れていき、保育園等の集団活動に参加できるよう繋げる。	椅子に座ることから慣れ、集団療育の『認知』『言語』『運動』プログラム療育で集団療育の楽しさを知ってもらう。	職員間での集団療育指導を統一する。
3	活動の様子を配布 活動の様子や成長を保護者様に知ってもらう。	3ヶ月ごとに活動の様子を写真付きで作成し、保護者の方に配布し成長の共有を行っている。また、地域支援や移行支援でスムーズな支援移行の為に『ちやいんどえっぐあゆみ』とともに支援移行に役立っている。	法人内にて同じ書式の為、違う事業所職員間でも作成に関する相談ができる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援環境は開放的な作りのため、音が響きやすくなっている。	支援環境が耐久ガラスや吹き抜けの構造のため。	部屋数はあるので、その都度対応する部屋を変える。
2	園庭が狭い。	園庭には砂場もあるが、土地の関係上のびのび遊べない。	園庭だけでなく、散歩も取り入れている。
3			